名古屋工業大学巴会々報
と　も　え

2026 年 11 月 No. 59 号	名古屋工業大学機械工学科内　巴会本部 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 巴会庶務担当　玉野 真司　教授 メールアドレス：tomoekai.nitech@gmail.com ホームページ：http://tomoe.web.nitech.ac.jp/

巻頭言



「御器所キャンパスでの 47 年」

伊藤智啓（S58）

18 歳で名古屋工業大学生産機械工学科に入学してから 65 歳で定年退職するまで、私は御器所キャンパスで過ごしました。おそらく 47 年間連続での在籍は機械工学科で第 1 号であろうということで，今回の巻頭言をお引き受けしました。名工大での半世紀弱の思い出話しにお付き合いください。

父親が勤める中小企業の工場敷地内で育った私は、工作機械になじみがあり機械工学科を志望しました。父が疾病の後遺症で自宅療養していたので、経済的負担の少ない、自宅から通学できる国立大学である本学に入学しました。入学した 1979 年（S54）は共通一次試験の初年度でした。当時は機械工学科と生産機械工学科の 2 学科体制で、定員は合計 120 名だったと記憶しています。東三河の自宅からの通学は 1 年で断念し、2 年生からは風呂も無い一間に下宿しました。当時は近所に銭湯もあり、同じような下宿生も多かったです。

機械科専門科目の講義・演習のほとんどは、機械科棟（現 11 号館）とその周辺の建物に集中していました。機械科事務室も機械科棟の 2 階にあり、教職員の交流の場として機能していました。今は 19 号館 1 階に事務室が集約され、学科内の交流の機会が減ったのは少し残念です。機械科棟の頃の工大祭といえば，「屋上ビアガーデン」が恒例でした。大学院 1 年生が全員参加し、6 階の研究室がキッチン代わりとなったため、工大祭の後はしばらく揚げ油の匂いに悩まされたことも、懐かしい思い出です。

修士課程を修了する 1985 年に博士後期課程が新設され、「機械科から誰かが進学しなければ格好がつかない」と勧められて、後期課程に進学しました。研究は大変でしたが 1988 年（S63）に修了し、ありがたいことに助手の職に就けました。

昭和最後の卒研生が、機械科の教室に女子がいると騒いでいました。その後も少数ながら女子学生の入学が続きました。機械工学科で女子推薦が始まったのは 1994 年です。それ以降は一般入試でも 10 名以上の女子学生が入学するようになり、私の研究室でも卒研生の大半が女子という年がありました。当時の機械科棟には女子トイレが 1 カ所しか無く、耐震補強に伴う改築まで女子学生は不便を強いられました。今では多くの大学に女子推薦がありますが、名工大機械工学科がその先鞭をつけた格好です。時は流れ、2004 年に国立大学法人化され、2016 年の学科・大学院改組で電気・機械工学科となり現在に至ります。その間に 1 号館、旧生産システム工学棟（現 4 号館）、3 号館と私の研究室は移動しました。

退職に伴う研究室閉鎖のため、最後の 1 年間は実験装置の他大学への移管や、大量の紙資料等の廃棄に充てました。材料力学講座の万能引張試験機などの、11 号館 1 階の大型装置も処分しました。PCB を含む部品の処理や大型装置の廃棄には費用が嵩みましたが、残る先生方に迷惑を掛けることなく退職できたことに安堵しております。退職後には研究室 OB 有志が退職記念講演会・祝賀会を開催してくれて、多くの卒業生が集まりました。多くの方々の助けを得た、幸せな名工大での人生でした。ありがとうございました。

関 東 支 部 便 り

令和 7 年度～令和 8 年度上期（2025.4.1～2026.8.30）活動報告

巴会関東支部では、名古屋工業会東京支部（以下、名工会東京支部）の活動を支援し、その行事に積極的に参加しています。名工会東京支部の最大イベントは、毎年 11 月に開催される総会並びに懇親会ですが、ここに巴会関東支部のメンバーが積極的に参加しています。平成 27（2015）年から始めた電影会(電気系学科)との交流会は、令和 8 年度は電影会の企画で開催いたしました。そのほか、名工会東京支部の企画：ごきそサロンやエクスカーション、ゴルフ会等に適宜、個々に参加しています。以下に令和 7（2025）年度上期からの活動報告をいたします。

名工会東京支部総会

令和 7 年 11 月 8 日（土）に東京・日本橋茅場町の鉄鋼会館にて、大学から柿本健一副学長、青木純教授、並びに名工会から横山裕幸理事長(K49)、仁科健常務理事（B50）及び奈須秀太事務局長を来賓としてお迎えして名工会東京支部総会、懇親会が開催されました。全体で 87 名、巴会から 10 名が総会、講演会及び懇親会に参加しました。総会の特別講演では名工大情報工学類教授・NITech AI 研究センター長の加藤昇平様が「ロボットの感性制御デザインと会話で作る健やかな未来社会」について講演されました。

巴会と電影会の合同見学会・懇親会

本活動は、巴会と電影会の交流活動として2015年からコロナ禍の 3 年間を除き毎年開催しています。昨年は巴会の企画で、令和 7 年 7 月 12 日（土）につくばの JAXA 筑波宇宙センターで、第 8 回の見学会と懇親会を行い合計 18 名が参加しました。
令和 8 年度の第 9 回合同見学会は、電影会の企画で 6 月 20 日（土）に、JAXA 相模原キャンパス・宇宙科学探査交流棟の見学、及び隣接する相模原市立博物館の見学とプラネタリウム「星空テラス」の鑑賞を行いました。巴会からは 7 名、電影会 7 名の合計 14 名が参加しました。当日は、JAXA 職員に交流棟の展示内容を説明していただき、とても有意義な見学になりました。また、見学会終了後、しゃぶしゃぶ屋で懇親会を行い、楽しい交流の一時を過ごしました。



第 9 回合同見学会（令和 8 (2026) 年 6 月 20 日（土）@JAXA 相模原キャンパス）

名工会東京支部東京ごきそサロン

令和 7 年 9 月 13 日（土）東京駅八重洲倶楽部において開催された第 69 回ごきそサロンでは、東亞合成(株)川崎工場長の守谷 聡氏（D59 卒）を講師にお迎えし、「プラント爆発事故とその根底ににあったもの」についてご講演いただきました。巴会からは 3 名参加しました。続く第 70 回は、令和 8 年 3 月 14 日（土）に同倶楽部で山瀬利博氏（D40 卒）による「金属酸化物クラスター(ポリ酸)の科学と応用」の講演が行われました。

令和 7 年度巴会関東支部総会・懇親会

令和 7 年 11 月 8 日（土）名工会東京支部総会・懇親会の終了後、同じ鉄鋼会館の別の個室において、巴会関東支部の総会と秋の集いを参加者9名にて開催しました。ここ二三年名工会東京支部の総会・懇親会では料理の提供はなく乾き物を主体としたつまみとサンドイッチ程度ですので、関東支部の秋の集いでは、少し良いお弁当をとって、着席にて料理をいただきながら懇親を深めました。

（以上）

（関東支部長　戸澤宏一　M55）

関 西 支 部 便 り

令和 7 年度上期～令和 8 年度上期活動報告（2025.4.1～2026.8.30)

1．支部長就任のご挨拶



平素は巴会関西支部活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

前支部長の急逝に伴い、支部長を拝命することになりました坪田博隆です。

7 月 4 日実施の支部総会は、2 年振りの開催となりましたが、参加者は、現地 18 名、WEB4 名の計 22 名となりました。過去の実績からも近年最多の参加人数となりました。

巴会関西支部は、名古屋工業大学機械工学科出身者の集まりである巴会の関西以西の地域を対象に支部活動を行っており、活動内容は、同窓会会員相互の親睦と交流を目的に総会、講演会、懇親会、見学会、ゴルフコンペ、交流サロン等を企画、運営しております。

現在、若手の在籍及び全体の人数が減少する中で、いかに存続、増強していくかが喫緊の課題となっております。その中で従来は、ゴルフコンペ、総会が中心でしたが、2026 年度から新体制のもと、講演会、新年会、そして私が主催している名古屋工業会大阪支部交流サロン等を新たに取り込みながら、多くの方々に参加いただける積極的な交流会とするべく企画を刷新いたしたいと考えております。

ご賛同いただける方は、是非とも会員としてご参加を頂き、巴会の発展のためにご支援とご尽力を賜わればと思っております。

すでに会員の皆様におかれましては、巴会関西支部活動に対して引き続きご支援とご協力を賜わります様、宜しくお願い申し上げます。

2．巴会関西支部役員人事

従来の支部長、副支部長、会計、幹事に加え。事務局長ポストを新設してホームページ、名簿の強化及び発信力の強化を図ります。また、企画、イベント幹事に中堅若手を採用し、従来のゴルフ一辺倒から講演会、懇親会などの企画実施により、多くの方々に参加頂ける機動力のある運営をいたしてまいります。その為に、幹事団は 12 名に増強しております。

巴会関西支部役員一覧　　2026年4月1日

	担当	氏名	卒年	巴会担当業務	名古屋工業会大阪支部業務
1	支部長	坪田博隆	M51	総括	副支部長、代議員、若手・女性部会長、単科会連携委員長、会員増強委員長、ごきそ技術士会大阪支部
2	副支部長	岡田正史	MH05	企画、資料担当	ごきそ技術士会大阪支部副支部長
3	事務局長	松井正樹	M53	ホームページ・名簿・配信担当	会員増強委員
4	会計	鈴木潤一	M56	企画、会計担当	総務委員、若手女性部会委員
5	会計監査	安藤真一郎	M47	会計監査	
6	幹事	吉野泰英	M47	企画、総会担当	
7	幹事	田岡鉄男	M47	企画、総会担当	
8	幹事	今井淳	M56	企画、総会担当	
9	幹事	筒井真作	M58	企画、会員増強担当	
10	幹事	数阪昭二	M57	ゴルフ担当、M58千草、M58野田	
11	幹事	藤山和喜	MH09	企画、イベント、講演担当	ごきそ技術士会大阪支部
12	幹事	内藤陽	MH10	企画、イベント、講演担当	ごきそ技術士会大阪支部
	顧問	福竹泰彦	M43		
	顧問	堀内清	M43		
	顧問	伊藤俊明	M45		監賀部会元部会長
	顧問	松永純二	M46		ごきそ技術士会大阪支部元支部長

3．2025 年度活動報告(2025.4.1～2026.3.31)　実績表参照

巴会関西支部ゴルフコンペを 2 回実施し、名古屋工業会大阪支部交流サロンを 3 回実施しました。

交流サロンは、年末にコロナ禍以降、初めての忘年会を兼ねたハイブリッド開催とし、巴会からは 7 名が参加しました。

2025 年度巴会関西支部総会は、前支部長の都合により実施されませんでした。（理由は不明）

従って、この年度の会計収支は、ゴルフ支援金の 2 万円のみで、極めて低調な活動実績となりました。

2025 年度実績

2025/4/12	第 19 回　名古屋工業会大阪支部交流サロン（WEB）	巴会参加者：9 名
2025/8/30	第 20 回　名古屋工業会大阪支部交流サロン（WEB）	巴会参加者：10 名
2025/10/8	第 31 回巴会関西支部ゴルフコンペ開催	参加者：12 名 大津カントリークラブ 東コース
2025/12/13	第 21 回 名古屋工業会大阪支部交流サロン（ハイブリッド）	中央電気倶楽部 巴会参加者：7 名
2026/3/17	第 32 回巴会関西支部ゴルフコンペ開催	参加者 13 人 大津カントリークラブ 西コース

3．2026 年度上期活動報告と下期計画(2026.4.1～2027.3.31)　実績・計画表参照

総会開催については、先に報告したように参加者は 22 名となり、大変盛況でした。

議事は次の 4 項目、①会則改定、②組織改定、③活動報告、④会計報告で、全会一致で可決されました。

議事の後、講演会では、下記 2 名の現役大先輩から講演を頂き大好評でした。

1）M46 中川平三郎氏：滋賀県立大学名誉教授「多機能マシニングセンターを用いたモノづくり」

2）M47 田岡鉄男氏：川崎重工株式会社「ヘリコプタートランスミッションの開発経緯」

懇親会は、中央電気倶楽部レストランで開催し、最高齢の M37 野崎茂様に乾杯の挨拶を頂き、新旧和気あいあいと旧交を温めました。最後に、校歌「東海の邦のほまれに」を全員で斉唱し、お開きとなりました。

今年度下期の計画は、10 月ゴルフコンペ、12 月交流サロン忘年会、1 月新年会・講演会、3 月ゴルフコンペなどを予定しております。

2026 年度実績・計画

2026/4/15	第 22 回　名古屋工業会大阪支部交流サロン（WEB）	巴会参加者：8 名
2026/7/4	巴会関西支部総会	中央電気倶楽部
2026/8/29	第 23 回　名古屋工業会大阪支部交流サロン（WEB）	
2026/10/15	第 33 回巴会関西支部ゴルフコンペ	大津カントリークラブ 西コース
2026/12/	第 24 回　名古屋工業会大阪支部交流サロン(ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ)	中央電気倶楽部
2027/1	新年会　担当 腰山、内藤	
2027/3	第 34 回巴会関西支部ゴルフコンペ	大津カントリークラブ

（以上）

（関西支部長　坪田博隆　M51）



記念写真



講演風景：上が中川氏、下が田岡氏





総会風景



懇親会風景：M37 野崎氏乾杯挨拶



校歌斉唱

巴 会 運 営 便 り

○ 2025 年 11 月 15 日、2025 年度巴会理事会・総会が開催され、全議案が承認されました。
○ 2026 年 4 月 17 日、対面とオンラインのハイブリッド形式にて 2025 年度第 3 回理事会が開催されました。また、2026 年度も巴会理事会・総会の開催時期を工大祭開催中の土曜日にすることを決定しました。
○ 2026 年 3 月 26 日の学位記授与式の後、巴会賞の授与と卒業記念パーティーを行いました。

（玉野 真司 2026（令和８）年度 巴会庶務担当）

訃　報（次の方々のご逝去を悼み，心からご冥福をお祈り致します．）

S30 林 武雄	S32 山本 倖暉	S33 伊神 成之	S33 大橋 通弘	S34 松尾 博孝
S36 岡 照雄	S36 野澤 滋爲	S43 駒田 稔	S47 掛田 健二	S54 西野 誠

2024 年度、2025 年度、2026 年度に名古屋工業大学企画広報課（卒業生連携室・基金室）に逝去のご連絡があった方々を掲載しています。（学部卒業年順）

ご寄付のお願い

皆さまからのご寄付をお願いいたします。
名古屋工業大学全体へのご寄付（大学基金）は、学生への支援（研究、課外活動など）・社会貢献活動への支援・国際交流の推進に使わせていただくものです。
特定の事業やプロジェクトなどへのご寄付（特定基金）は、ものづくり系のグループ（フォーミュラプロジェクト・人力飛行機研究会・ロボコン工房・ソーラーカー部など）をはじめ、各運動部・文化部を直接ご支援いただくものです。
詳細につきましては以下のウェブサイトをご覧下さい。
https://www.nitech.ac.jp/kikin/

学 内 報 告

＜叙位・叙勲＞

令和 6（2024）年春，令和 6（2024）年春
令和 7（2025）年春，令和 7（2025）年秋
令和 8（2026）年春
巴会関係者の叙勲なし

＜人事異動＞

名古屋工業大学電気・機械工学科，大学院工学専攻の機械工学プログラムにおいて次の人事異動がありました（敬称略）。

＜昇任＞
2025 年 4 月 1 日　准教授　山田格
＜着任＞
2025 年 4 月 1 日　助教　伊藤愛
2025 年 4 月 1 日　助教　笹井遥
2025 年 4 月 1 日　助教　戸塚圭亮
2026 年 2 月 1 日　教授　松本良
＜定年退職＞
2025 年 3 月 31 日　教授　長谷川豊
2026 年 3 月 31 日　准教授　伊藤智啓

＜新２年生交流会＞

今年度からの新たなイベントとして、2025 年 4 月 25 日に、大学会館 1 階大食堂にて、巴会共催の新 2 年生交流会を開催しました。本会は、1 年次終わりの分野分属を経て、機械工学分野の新たな一員となった 2 年生の歓迎とモチベーションアップを目的としています。当日は、ソフトドリンク・軽食のみでなく、教員による研究紹介のためのブースも設置され、学生同士、学生–教員間、教員同士の親交が深まる大変貴重な機会となりました。研究紹介を熱心に聞く学生が多く見られ、新 2 年生に改めて機械工学の魅力を知ってもらえる有意義な会になりました。



新 2 年生交流会における研究紹介の様子

＜ソフトボール大会＞

巴会ソフトボール大会が例年通り千種グラウンドにて開催されました。熱戦の結果、優勝は糸魚川・早川・前川・劉・笹井研究室、準優勝は坂口・保浦・石野・森西・伊藤・西田合同研でした。みなさん、おめでとうございます。



ソフトボール大会の表彰の様子

＜卒業記念パーティー＞

2026 年 3 月 26 日、学位記授与式が執り行われました。同日午後には、大学会館 1 階大食堂において、巴会賞授与式および巴会主催の卒業記念パーティーが開催されました。卒業生・修了生約 100 名、教職員約 20 名が参加し、会は藤本英雄会長の開会の辞により始まりました。

春の訪れを感じさせる穏やかな日となり、会場では卒業生・修了生が、これまでの学生生活を振り返りながら、恩師や友人との語らいを楽しみました。卒業を迎えた安堵と、新たな道へ進む期待が入り混じる中、会場のあちらこちらで笑顔が見られ、立食形式のパーティーは終始なごやかな雰囲気で進みました。



笑顔あふれる卒業記念パーティー

会の中では、巴会賞受賞者の表彰が行われ、優秀な学生の努力と成果が讃えられました。また、三浦賞、畠山賞、精密工学会賞、SICE 賞などの各賞受賞者の紹介や、ソフトボール大会の結果報告も行われ、会場からは温かい拍手が送られました。学生会委員の協力による受付、案内、会場設営、写真撮影などの運営も円滑に行われ、参加者にとって心に残るひとときとなりました。

最後に森西洋平副会長より卒業生・修了生への励ましの言葉が贈られ、参加者一同、今後の活躍を願いながら、卒業記念パーティーは盛会のうちに閉会しました。

2025 年度の巴会賞とその他の各賞の受賞者は次の通りです（敬称略）。

☆巴会賞
太田 啓介，高橋 克典，園村 昌弘

☆名古屋工業会賞
加藤 颯馬，上田 彪斗

☆日本機械学会畠山賞
加藤 颯馬

☆日本機械学会三浦賞
鷲見 竜雅，栗本 佳歩

☆自動車技術会大学院研究奨励賞
梅澤 遼

☆計測自動制御学会優秀学生賞
上田 彪斗

☆日本ロボット学会優秀学生賞
太田 啓介

☆精密工学会東海支部賞
高橋 克典，鈴木 佐和子

☆計測自動制御学会中部支部学業優秀賞
山下 大智

ROAD TO DREAM !!

名古屋工業大学ものづくりテクノセンター付属　フォーミュラプロジェクト

名古屋工業大学学生フォーミュラプロジェクトは、毎年 9 月に開催される「学生フォーミュラ日本大会」への出場を目指し、年間を通じて 1 台の小型フォーミュラカーの企画・設計・製作を行っています。車両開発に加え、チーム運営を担うマネジメントや渉外活動にも取り組み、社会で活躍できるエンジニアへと成長することを目標に、2002 年の創設以来、日々活動を続けています。

EV 部門参戦 3 年目となった昨年度大会では、「EV クラス動的審査トップ」という目標を達成し、EV 部門 2 位という成績を収めました。一方、EV 部門で総合優勝を果たすためには、車両性能のさらなる向上だけでなく、静的審査においても高得点を獲得する必要があることが明らかとなりました。

学生フォーミュラ日本大会では、車両の速さや耐久性、エネルギー効率を競う「動的審査」に加え、設計内容や開発の考え方、製作コストなどを評価する「静的審査」が行われます。そこで本年度は「EV 部門総合優勝」を目標に掲げ、動的審査と静的審査の双方で高い評価を得ることを目指して活動しました。

車両開発では、昨年度に引き続き、軽量化と運動性能の向上に取り組みました。軽量化は、加速性能やコーナリング性能の向上に加え、長距離を走行するエンデュランス審査における電力消費の低減にもつながります。本年度は、サスペンション部品や電装部品の一部をカーボン化したほか、自作遊星歯車機構の改良や自作ブレーキキャリパーの開発を行いました。また、新たなバッテリーの導入によって車両の低重心化を図るとともに、制御面ではブレーキバイアス制御を導入しました。機械部品と制御技術の両面から、車両全体の性能向上に取り組みました。

こうして設計・製作された本年度車両は、3 月 29 日にシェイクダウンを実施しました。その後は、電気系・機械系のトラブルの洗い出しや信頼性確認、各部品の性能評価、サスペンションをはじめとする各種セッティングを進めました。大会までに累計 350km を走行し、実際の走行から得られたデータとドライバーの意見をもとに車両を改善しました。大会前の試走会では昨年度を上回るタイムを記録し、車両性能の向上を確認することができました。

さらに、本年度は車両の性能を実際に測定し、設計時の目標や計算結果と比較する実測評価に、これまで以上に力を入れました。得られたデータは車両のセッティングや部品の改良に活用するとともに、静的審査において設計の妥当性を示す根拠としても活用しました。その結果、静的審査では昨年度を上回る高い評価を獲得し、書類作成やプレゼンテーションの面でも大きく成長することができました。

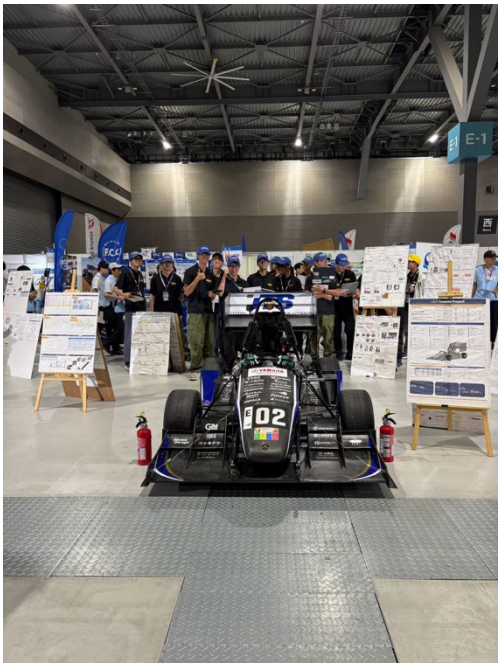
しかし、大会の最終結果は昨年度と同じ EV 部門 2 位となり、目標としていた「EV 部門総合優勝」には届きませんでした。車両性能と静的審査の双方で成長できた一方、総合優勝を目指してきた私たちにとっては、非常に悔しい結果となりました。

それでも、高い目標に挑戦したからこそ、新たな課題を発見し、自分たちに不足しているものを具体的に認識することができました。また、設計、製作、実測、評価、改善という一連のサイクルを繰り返すことで、自分たちの設計を客観的な根拠に基づいて検証する、実践的な開発プロセスを経験しました。目標に挑戦することの大切さと、その達成の難しさをチーム全員が実感した一年となりました。

最後になりますが、私たちが高い目標を掲げ、車両開発や大会に挑戦し続けることができているのは、巴会の皆様の温かいご支援とご声援のおかげです。チーム一同、心より感謝申し上げます。本年度の経験と悔しさを次なる成長への原動力とし、今後もより一層努力してまいります。引き続き、名古屋工業大学学生フォーミュラプロジェクトへの変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

村瀬　海輝 (ムラセ カイキ)
リーダー: 電気機械工学科機械分野 3 年
名古屋工業大学 11 号館 107 号室
Mail: k.murase.727@stn.nitech.ac.jp
Tel:052-735-5629
https://www.qitc.nitech.ac.jp/formula/









令和 7 年度（2025 年度）卒業生の進路・就職先

■ 大学院　修了者

㈱アドヴィックス
愛知機械工業㈱
㈱オリエンタルランド
岡谷鋼機㈱
川崎重工業㈱
㈱クボタ
京セラ㈱
サントリーホールディングス㈱
㈱SCREEN ホールディングス
スズキ㈱
住友重機械工業㈱
住友電気工業㈱
ジャパンマリンユナイテッド㈱
㈱タイメック
ダイキン工業㈱
中部電力㈱
中部電力パワーグリッド㈱
㈱デンソー
電源開発㈱
東海旅客鉄道㈱
東邦ガス㈱
トヨタ自動車㈱
㈱豊田自動織機
日本ガイシ㈱
日本製鉄㈱
パイロットインキ㈱
㈱パロマ
ブラザー工業㈱
本田技研工業㈱
三菱重工業㈱
三菱重工サーマルシステムズ㈱
ヤマハ発動機㈱
㈱ラクス

名古屋工業大学大学院

■ 学部　第一部　卒業者

㈱アイシン
愛三工業㈱
㈱大林組
オークマ㈱
沖縄県庁
鹿島建設㈱
㈱川本製作所
㈱関ケ原製作所
㈱ジェイテクト
㈱ジェイテクトギヤシステム
住友電装㈱
デンソーテクノ㈱
東海旅客鉄道㈱
㈱豊田自動織機
日産モータースポーツ＆
カスタマイズ㈱
日本航空㈱
ノリタケ㈱
ヤマハ発動機㈱

大阪大学大学院
東京科学大学大学院
東京大学大学院
名古屋工業大学大学院

■ 学部　第二部　卒業者

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing㈱
住友電装㈱

名古屋工業大学大学院

2026 年度　巴 会 理 事 会・総 会　議 題 資 料

(1) 2027 年度（2026.11 総会 ～ 2027 年総会まで）役員名簿（案）

会　長：藤本　英雄（名誉教授、S47）
副会長：学外・岩田　忠三（学外）
　　学内・糸魚川　広文（教員）
理　事：関東支部長　戸澤　宏一（S55）
　　関西支部長　坪田　博隆（S51）
　　庶務
　　田中　由浩（教員）　武内　博明（H01）
　　早川　伸哉（教員）　小塚　満（H16）
　　会計
　　仲野　聡史（教員）　八木橋　信（H5）
　　牧野　武彦（教員）　冨田　庸公（H01）
　　名簿
　　牛島　達夫（教員）　石川　拓生（S60）
　　事業
　　田中　由浩（教員, 兼任）伊西　穂高（H27）
　　会報
　　劉　暁旭　（教員）　倉内　孝（H09）
　　学生会
　　金子　栄樹（教員）

監　　事：学外・近藤　邦治（S45）
　　学外・小久江　智之（S53）
特別顧問：金原　淑郎（S25）
　　石川　宏（S30）
　　塩見　正直（S34）
　　江崎　俊夫（S38）
顧　　問：服部　桂（S41）

(2) 2025 年度事業報告・2026 年度事業計画・2027 年度事業計画（案）

	2025 年度事業報告
会報	「ともえ」No.58 発行 2025.11
総会	2025.11.15（土）(工大祭と同日開催), 名古屋工業大学 3 号館 0321 講義室（ハイブリッド）
講演会	中止
総会付随行事	中止
懇親会	中止
支部	(1) 巴会・電影会 合同見学会・懇親会　2025.7.12 名古屋工業会東京支部東京ごきそサロン 2025.9.13, 2026.3.14 名古屋工業会東京支部総会・懇親会　2025.11.8 巴会関東支部総会・秋の集い　2025.11.8 (2) 名古屋工業会大阪支部交流サロン　2025.4.12, 2025.8.30, 2025.12.13 関西支部ゴルフコンペ　2025.10.8, 2026.3.17
学内事業	(1) ソフトボール大会 (2) 巴会賞授与および卒業記念パーティー (3) 新 2 年生交流会 (4) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会（ハイブリッド）

	2026 年度事業計画
会報	「ともえ」No.59 発行 2026.11
総会	2026.11.14（土）(工大祭と同日開催), 名古屋工業大学 3 号館 0321 講義室（ハイブリッド）
講演会	中止
総会付随行事	中止
懇親会	中止
支部	(1) 巴会・電影会 合同見学会・懇親会　2026.6.20 名古屋工業会東京支部総会・懇親会　2026.11.14 巴会関東支部総会・秋の集い　2026.11.14 (2) 名古屋工業会大阪支部交流サロン　2026.4.15, 2026.8.29, 2026.12 巴会関西支部総会・懇親会　2026.7.4 関西支部ゴルフコンペ　2026.10.15, 2027.3 新年会　2027.1
学内事業	(1) ソフトボール大会 (2) 巴会賞授与および卒業記念パーティー (3) 新 2 年生交流会 (4) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会（ハイブリッド）

	2027 年度事業計画
会報	「ともえ」No.60 発行 2027.11（予定）
総会	未定
講演会	未定
総会付随行事	未定
懇親会	未定
支部	(1) 巴会・電影会 合同見学会・懇親会 名古屋工業会東京支部総会・懇親会 巴会関東支部総会・秋の集い (2) 名古屋工業会大阪支部交流サロン 巴会関西支部総会・懇親会 関西支部ゴルフコンペ 新年会
学内事業	(1) ソフトボール大会 (2) 巴会賞授与および卒業記念パーティー (3) 新 2 年生交流会 (4) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会（ハイブリッド）

(3) 2025 年度 報告書 (2025.4.1 ～ 2026.3.31)

【一般会計】

収入		支出	
前年度繰越金	1,629,334	支部補助	0
終身会費	572,500	総会/講演/懇親会	0
(卒業生 0 名)	(0)	学内事業費補助	480,000
(在学生 29 名)	(80,000)	会議費	22,000
(新入生 197 名分×1/2)	(492,500)	事務通信費	1,540
総会懇親会参加費	0	雑費	1,076
受取利息	3,398	事務補佐員	16,000
工業会からの補助	0	その他支出	0
基金会計から受入	0		
その他収入	0		
		次年度へ繰越	1,684,616
合計	2,205,232	合計	2,205,232

【基金会計】

収入		支出	
前年度繰越金	6,142,772	一般会計へ振替	0
受取利息	10,722	事務通信費	0
		次年度へ繰越	6,153,494
合計	6,153,494	合計	6,153,494

(4) 2026 年度 予算書 (2026.4.1 ～ 2027.3.31)

【一般会計】

収入		支出	
前年度繰越金	1,684,616	支部補助	0
終身会費	700,000	総会/講演/懇親会	150,000
(卒業生 0 名)	(0)	学内事業費補助	580,000
(在学生 20 名)	(200,000)	会議費	30,000
(新入生 100 名)	(500,000)	事務通信費	5,000
総会懇親会参加費	50,000	雑費	5,000
受取利息	2,500	事務補佐員	50,000
工業会からの補助	50,000	その他支出	0
基金会計から受入	0		
その他収入	0		
		次年度へ繰越	1,667,116
合計	2,487,116	合計	2,487,116

【基金会計】

収入		支出	
前年度繰越金	6,153,494	一般会計へ振替	0
受取利息	9,000	事務通信費	0
		次年度へ繰越	6,162,494
合計	6,162,494	合計	6,162,494

(5) 2027 年度 予算案 (2027.4.1 ～ 2028.3.31)

【一般会計】

収入		支出	
前年度繰越金	1,600,000	支部補助	150,000
終身会費	700,000	総会/講演/懇親会	150,000
(卒業生 0 名)	(0)	学内事業費補助	600,000
(在学生 20 名)	(200,000)	会議費	30,000
(新入生 100 名)	(500,000)	事務通信費	5,000
総会懇親会参加費	50,000	雑費	5,000
受取利息	2,500	事務補佐員	50,000
工業会からの補助	50,000	その他支出	0
基金会計から受入	300,000		
その他収入	0		
		次年度へ繰越	1,712,500
合計	2,702,500	合計	2,702,500

【基金会計】

収入		支出	
前年度繰越金	6,100,000	一般会計へ振替	300,000
受取利息	9,000	事務通信費	0
		次年度へ繰越	5,809,000
合計	6,109,000	合計	6,109,000

巴会会歌

作詞　井上俊一（明四十三卒）
作曲　宮崎安兵衛（〃）

一、正気纏れる東陵に
誓も堅き健児等が
健実の気風樹立して
不撓不屈の旗高し
フレフレフレ

二、高き自覚に溢る意気
確き自信に腕の業
若き健児が鍛え得し
稜々気骨の血は躍る
フレフレフレ

三、汚穢紛々の文明に
憂国義憤の人あらば
血潮と汗に清らけき
巴の健児が誠きけ
フレフレフレ

四、春妖香の霞わけ
秋壮烈の霜を踏み
集いて健児紫旗影に
永久の団結歌うなり
フレ機械フレ機械
機械機械フレ
フレ機械フレ機械
機械機械フレ

2026 年度　巴 会 理 事 会・総 会 の ご 案 内

2026 年度も，昨年度と同様，巴会理事会・総会を工大祭開催中の土曜日（11/14（土））を予定しております．工大祭との同時実施になりますので，現在の大学生の様子を知ることができる機会になります．ぜひとも大学のご級友の方と共に，在学当時を思い出しながらキャンパスを歩かれてみませんか？
場所などの詳細は，後日，巴会の HP 上でご案内させていただきます．
ご参加のほど，どうぞよろしくお願い申し上げます．

日時：2026 年 11 月 14 日（土）14～15 時

場所：オンラインと対面のハイブリッド
オンラインのサイト　総会の 1 週間前までに tomoekai.nitech@gmail.com までご連絡くださった方に折り返しお知らせします
対面　名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室（Teams とのハイブリッド）

メールアドレスの共有のお願い

巴会では、総会の案内や会報ともえの発刊などの各種案内を、登録済みのメールアドレスを通じて会員の皆様に積極的に発信したいと考えております。巴会からの郵送等によるご案内はすでに終了しており、代わりにホームページを通じてこれらの案内をして参りましたが、それだけでは不十分と考えられるからです。しかしながら、現在の巴会会員データベースでは、会員数に対して登録されているメールアドレス数が大変少なく、このままでは十分な情報発信が難しい状況です。

そこで会員の皆様には大変お手数ですが、ご自身のメールアドレスを巴会事務局に積極的にお知らせいただき、連絡用のメールアドレスをデータベースに登録させていただければ幸いです。なお，頂いた情報は、巴会からの案内以外に用いることはございません。不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

連絡先：　巴会事務局（E-mail アドレス：tomoekai.nitech@gmail.com）

ご連絡いただきたい内容
・卒業・修了年：
・（卒業時）氏名：
・メールアドレス：

以上